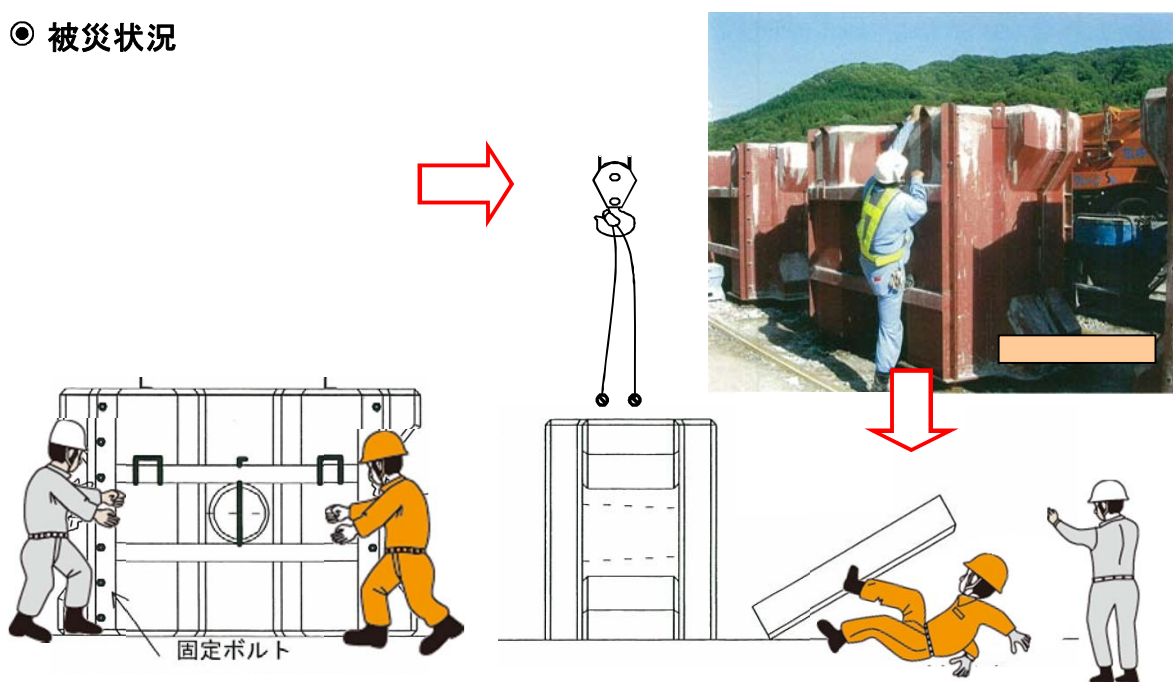


『型枠脱型中、手順ミスにより型枠倒壊し下敷き骨折』

発生年月	平成 年7月
時刻	13:45 頃
被災者	普通作業員(38歳)
傷病名・部位	左くるぶしの両側側面骨折、右肩打撲、左側頭部切傷（休業30日）

- ◎ 発生状況
1. 消波根固ブロック製作ヤード内において、被災者は16 tビーハイブの前面型枠(465kg)を脱型中であつた。
 2. 2人1組の作業で、型枠の上から2番目のボルトを、一人1個ずつ外す作業をしていた。本来は型枠転倒防止のため残すべきボルトを外してしまった。
 3. 被災者は型枠脱型のためフックを掛ける際、型枠に足をかけたため、型枠が被災者側に倒れてきて下敷きになった。この際、被災者の身体は型枠の凹部に入り、足が型枠の凸部に当たったため、くるぶしを骨折した。

◎ 被災状況



◎ コメント

- ・新規入場時に、作業手順を教育指導し、全員が周知すること。
- ・安全打合せで型枠脱型作業のリスクを、確実に洗い出すこと。
- ・型枠脱型手順は、型枠のボルトを全て外さないで数本残し、クレーンのフックを掛けた後、最後のボルトを外すことを厳守させること。